

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

事業名	骨髄移植等に係る定期予防接種再接種費用助成事業	担当	保健福祉部 健康増進課
-----	-------------------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		11	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源	11		

事業の目的

骨髄移植等を行った場合、移植前に接種した予防接種の免疫は消失してしまいます。そのため、感染症予防のためには、それらの予防接種の再接種が必要となります。
そこで、再接種にかかる費用を助成することで、対象者の経済的負担の軽減及び感染症予防並びに感染症の蔓延予防を図ります。

事業の概要

◎対象者：骨髄移植等の医療行為により、予防接種法（昭和23年法律第68号）第2条第2項に規定する予防接種について接種済の者で、再度予防接種を受ける必要があると医師が認めた者、かつ、接種時点において20歳未満の者

◎助成額：予防接種を実施した当該年度における、各予防接種委託料単価を上限とする。

◎周知方法：広報つちうら8月中旬号及びホームページ掲載

骨髄移植等実績のある近隣医療機関や日本骨髄バンク等、対象者に関係のある団体へ事業周知

治療によって免疫が低下（喪失）した状態での社会生活は、感染のリスクが高く、健やかな成長を妨げる恐れがあるため、予防接種の再接種が必要となります。



しかし！

再接種はすべて自己負担となるので、経済的負担がとても大きいです！



[実績]

(単位：円)

申請件数	申請理由	接種内容	接種回数	上限額※	請求額	支払額
1	造血幹細胞移植により免疫が消失したため	4種混合	1	11,600	11,400	11,400

※令和4年度委託料

事業の成果

対象者に情報が届くよう、適切に周知を実施することができました。また、費用助成により、再接種が適時適切に行われることで、再接種を要する者における感染症の予防に寄与することができました。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

事業名	各種予防接種事業（子宮頸がん予防接種）	担当	保健福祉部 健康増進課
-----	---------------------	----	----------------

（単位：千円）

決算額		15,631	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源	15,631		

事業の目的

HPVワクチン（子宮頸がん予防）接種において、法定年齢対象外となった者で接種を希望する者に対し、費用助成を行うことで、接種にかかる費用の負担軽減を図り、接種の推進及び感染症予防を図ります。

事業の概要

◎これまでの経緯

平成25年度 定期接種化（小6～高1対象）。接種後の多様な症状報告が相次ぎ、同年6月、国は「積極的勧奨の差し控え」を決定

令和3.11月 国はHPVワクチンの安全性に懸念はないとして、「積極的勧奨」を再開することを決定

令和4.3月 国は公平な接種機会の提供として「キャッチアップ接種」を実施することを決定

令和4.4月 市は予診票を含む個別通知による接種勧奨を開始

◎事業内容

「積極的勧奨の差し控え」により当該予防接種の正しい情報に触れることなく接種機会を逃した者について、予診票を含む案内を個別に送付し、接種費用を助成しました。

対象者：平成9年度～平成17年度生まれで、当該予防接種を未完了の者（キャッチアップ接種）

助成額：1回16,700円 3回まで（原則無料）

周知方法：予診票含む個別通知（※）、広報つちうら1月中旬号掲載、ホームページ等で周知

※令和4年4月以降の発送に対応するため、予診票等印刷は令和3年度中に対応。

[令和4年度分]

	実績	割合	備考
接種延回数（回）	936	6.4%	計画時の想定延回数 14,575回に対して
接種実人数（人）	436	8.6%	計画時の想定実人数 5,081人に対して
委託料（千円）	15,631	64.2%	令和4年度当初予算委託料 額24,349千円に対して ※委託料単価16,700円

[参考・接種状況（延）]（令和5年3月抽出）
（単位：人）

	対象者※1	1回以上 接種済	未接種※2
キャッチ アップ接種 合計	6,252	1,543	4,709
割合		24.7%	75.3%

参考）勧奨再開前「1回以上接種率」22.3%
※1 システム抽出
※2 転入者で市に接種歴がない者を含む

事業の成果

対象者において、年度内に1回以上の接種を行った者の割合は8.6%に達しました。また、対象者における延実績においても、1回以上接種を受けた者の割合は、接種勧奨以前と比較して着実に伸びています。これらのことから、適時適切な事業周知及び費用の助成により、ワクチン接種の推進に寄与しました。

款 衛生費	項 保健衛生費
-------	---------

事業名 予防費関係新型コロナウイルス感染症対策事業	担当 保健福祉部 健康増進課
---------------------------	-------------------

(単位：千円)

決算額		6,422	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	6,167	基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源	255		

事業の目的

新型コロナウイルス感染者数の急増により、自宅療養者が増える中、食料等の支援を行い、自宅療養中の新型コロナウイルス感染者と同居家族等の不安軽減を図ります。

事業の概要

- ◎対象者 次の事項に該当し、支援を希望する市内居住者
- ・保健所から自宅療養を指示された方、又は、自宅待機を指示されたその同居家族等
 - ・指示された自宅療養等の期間において、親族等からの支援を受けることが困難な方、インターネット通販や宅配サービス等による食料確保が困難な方

◎支援内容

支援用の食料セット（1日3食相当分のレトルト食品等を1人あたり3日分）を、支援を希望する市内居住者に配送しました。食料品に加え、必要な方には生理用品やおむつ等生活用品の支援も行いました。

◎実施期間 令和3年9月1日～令和5年2月17日

◎費用等 無料（個人の負担なし）

◎配送方法 市職員が食料品を入れた箱を、直接自宅に配達

[支援件数]

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
受付件数	80	22	15	118	277	82	20	71	120	89	7	901
配送数	238	65	39	310	754	210	51	173	292	212	19	2,363

[事業費]

(単位：千円)

区分	概要	事業費	
需用費	食材、ミルク、生理用品、おむつ等購入費	令和3年度からの繰越分	255
		令和4年度分	6,167
合計			6,422



1セット：1人3日分の食料

事業の成果

新型コロナウイルス感染に伴う自宅療養者と同居家族への食料等の支援の申込みに対し、早急に対応することで、安心した生活支援に寄与しました。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	担当	保健福祉部 健康増進課
-----	-----------------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		182,998	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	182,998	基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源	0		

事業の目的

新型コロナウイルス感染症のまん延防止及び重症化リスクを低減するため、国、県及び医療機関と協力して、新型コロナワクチンを接種するために必要な体制を整備します。

事業の概要

新型コロナワクチンの接種を希望するすべての方に対し、ワクチン接種を確実にかつ速やかに実施できるよう、以下のとおり接種体制を整えました。

◎事業内容

- ・土浦市医師会、土浦薬剤師会及び各医療機関との協力体制構築
- ・新型コロナワクチン接種に関する情報の周知
- ・予防接種台帳等のシステム改修
- ・コールセンター、集団接種会場の運営
- ・接種の記録、ワクチン接種証明書の発行
- ・接種券及び関係書類の作成、郵送
- ・ワクチンの管理、医療機関への配送
- ・予防接種健康被害調査委員会の開催 外

[事業費]

(単位：千円)

区分	概要	事業費	
		令和3年度 からの繰越分	令和4年度分
報酬・社会保険料等	会計年度任用職員報酬等	45	5,769
職員手当等	時間外勤務手当等		10,527
需用費	接種衛生用品等	681	5,497
役務費	接種券発送等	5,343	24,918
委託料 (内訳計)		854	111,793
事務委託	土浦市医師会		1,056
電算	接種券作成等		11,893
人材派遣	コールセンター等		91,605
ワクチン輸送	ワクチン輸送	814	6,451
ワクチン巡回接種	高齢者施設等	40	208
医療廃棄物運搬処理	集団接種医療廃棄物		580
材料及び賃借料	接種会場、パソコン等	1,272	15,735
備品購入費	ワクチン管理用エアコン等	564	
	合計	8,759	174,239

事業の成果

協力医療機関等における個別接種会場やイオンモール土浦の集団接種会場、茨城県が運営する大規模接種会場において、新型コロナワクチンの接種を実施しました。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業
-----	-------------------

担当	保健福祉部 健康増進課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		465,832	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	461,392	基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源	4,440		

事業の目的

新型コロナウイルス感染症のまん延防止及び重症化リスクを低減するため、国、県及び医療機関と協力して、新型コロナワクチンの接種を実施します。

事業の概要

本市では、協力医療機関等における個別接種会場のほか、イオンモール土浦の集団接種会場において、新型コロナワクチンの接種を実施しました。

◎委託料について

ワクチン接種を実施した接種費用等について、単価の設定に従い、支払いました。

1回当たりの接種費用（全国統一）（単位：円）

区分	単価
接種費用	2,277
接種できなかった場合の予診費用	1,694
6歳未満の乳幼児加算	726
時間外加算	803
休日加算	2,343

◎報償費について

集団接種に協力した医療従事者の費用について、単価の設定に従い、支払いました。

1回当たり従事費用（単位：円）

区分	単価
医師	47,500
看護師・薬剤師	14,100
保健師	14,100
保健師（統括）	18,800

[事業費]

(単位：千円)

区分	概要	事業費	
		令和3年度からの繰越分	令和4年度分
報償費	集団接種医療従事者		25,193
委託料	接種費用等	88,745	347,454
返還金	過年度国庫返還金		4,440
合計		88,745	377,087

[令和5年3月31日時点の接種率]

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	オミクロン株対応 2価ワクチン
81.8 %	81.5 %	68.3 %	46.5 %	23.4 %	45.5 %

事業の成果

市内の約70箇所の協力医療機関や高齢者施設等において個別接種を実施したほか、イオンモール土浦において集団接種を実施し、茨城県が運用する大規模接種会場等での接種も併せ、延べ170,990名の方へ新型コロナワクチンの接種を行いました。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

事業名	医療体制強化事業
-----	----------

担当	保健福祉部 健康増進課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		77,000	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源	77,000		

事業の目的

本市の基幹的病院である霞ヶ浦医療センターにおける医師不足を解消し、地域医療の充実を図ることにより、市民が安心・安全に暮らせる環境を創ります。

事業の概要

◎実績

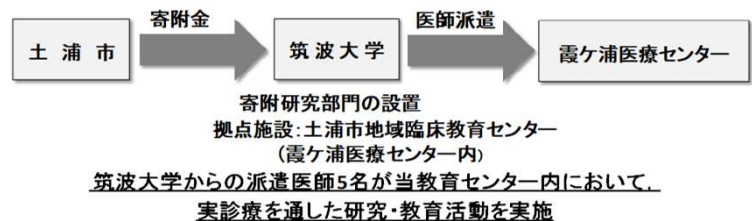
第3期寄附研究部門（名称変更：旧寄附講座）を実施しました。

設置期間 5年間（令和4年4月1日～令和9年3月31日）

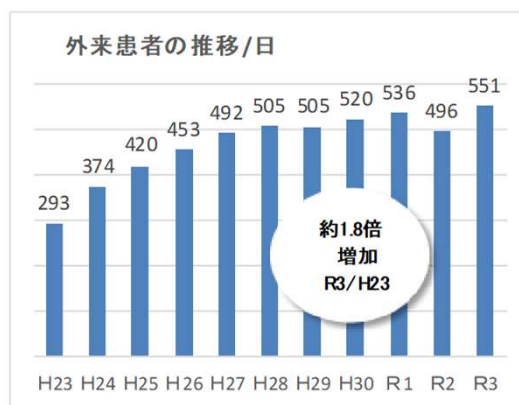
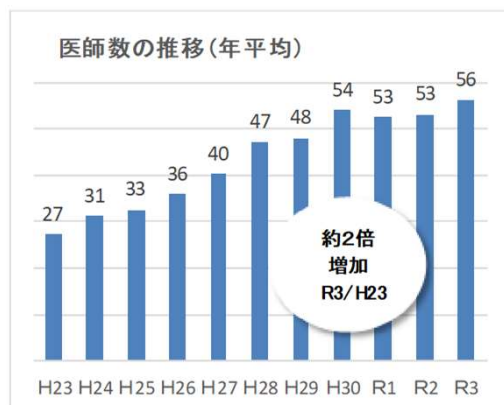
配置教員 教授3名、講師2名

寄附金額 77,000千円

「寄附研究部門」とは？



平成24年度より実施している本事業により、医師数・外来患者数等は増加しています。



事業の成果

継続的に筑波大学の寄附研究部門への寄附を通して、霞ヶ浦医療センターへの支援を行うことにより、当センターの医師数を確保し、増加傾向にある外来患者に対応することができています。本事業は、本市の地域医療のさらなる充実、そして市民の安心・安全な暮らしに寄与することができました。

款 衛生費	項 保健衛生費
-------	---------

事業名	医療機関支援事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)
-----	--------------------------------

担当	保健福祉部 健康増進課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		29,600	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	29,600	基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源	0		

事業の目的

新型コロナウイルス感染症の新規陽性者が急激に増加した第7波の渦中において、ウクライナ侵攻による原油価格・物価高騰等の影響を受けている医療機関の負担を軽減し、安定的かつ継続的な運営を支援します。

事業の概要

新型コロナウイルス感染拡大に伴う、原油価格、物価高騰等の影響を受けている医療機関に対し、物価高騰への支援として医療機関の規模に応じた光熱費等の一部を助成しました。

◎実績

[令和4年度分]

(単位：千円)

医療機関の区分	支援金額	対象機関数	計
①患者を入院させるための施設を有しない診療所	100	81機関	8,100
②患者を入院させるための施設を有する診療所(1~19床)	250	4機関	1,000
③患者を入院させるための施設を有する病院(20~199床)	500	4機関	2,000
④患者を入院させるための施設を有する病院(200床~)	1,000	4機関	4,000
⑤歯科	100	77機関	7,700
⑥薬局	100	68機関	6,800
合計		238機関	29,600

事業の成果

原油価格の高騰により、光熱費等の物価が上昇している中、市内の医療機関に対して、その一部を助成することにより、負担の軽減及び安定的かつ継続的な運営を図ることができました。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

事業名	上がり気味なら下げましょう、血圧・血糖教室	担当	保健福祉部 健康増進課
-----	-----------------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		86	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源	86		

事業の目的

健診は身体の状態を知るだけでなく、その結果を健康への取り組みに生かすことが大切です。医師から改善を指摘される多くが「高血圧」と「高血糖」で、これらの生活習慣病の要因について、市民が早期に予防への行動を実践することで、重症化を予防し、健康寿命を延ばします。

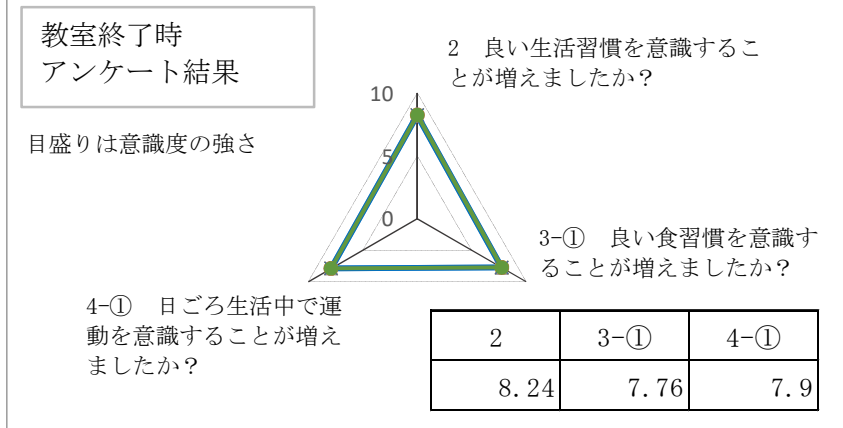
事業の概要

◎事業内容

8月から10月に6回コースの教室を開催し、申込者数は21名でした。申込者は市民の方で以下のいずれかに該当し、高血圧及び糖尿病について未治療の者及びその家族としました。

(1) 収縮期血圧130～160mmHgまたは拡張期血圧80～90mmHg
(2) 空腹時血糖100～120mg/dℓまたはHbA1c5.5～6.5%

開催日	参加者数	出席率
8月19日 (金)	18名	86%
8月24日 (水)	17名	81%
8月30日 (火)	15名	71%
9月12日 (月)	19名	90%
9月28日 (水)	18名	86%
10月12日 (水)	20名	95%



教室終了後も参加者の目標達成のための行動変容による効果が今後も維持できるよう、「フォローの集い」を開催し、教室終了6か月後までの状況等を確認しています。さらに、教室参加前と参加後の健診結果等を確認することで、生活習慣の改善意識の継続を目指すとともに、参加者への効果を検証していきます。

事業の成果

参加者が自らの目標達成に向けて日々努力している様子が伺えました。教室終了時のアンケート結果より、教室参加前より生活習慣や運動・栄養について、意識して生活するようになったと答えた方が多くいました。教室開催により、市民の生活習慣病の重症化予防、健康寿命延伸に寄与しました。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

事業名	不育症治療費助成事業
-----	------------

担当	こども未来部 こども包括支援課
----	--------------------

(単位：千円)

決算額		77	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 結婚・出産・子育ての切れ目ない支援の充実
	一般財源	77		

事業の目的

不育症と診断された夫婦に対し、不育症に係る検査や治療に要する費用を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

事業の概要

不育症治療に係る保険適用外の検査及び治療に要した費用の一部助成を行います。

◎対象者：次の①～⑤のすべての要件を満たしている方

- ①流産または死産の既往が合わせて2回以上ある夫婦で、医師に不育症と診断され、不育症治療を受けた方。
- ②法律上の婚姻をしていること、または事実婚の関係にあること。
- ③夫婦のいずれか一方が申請日の1年以上前から市内に継続して住所を有していること。
(事実婚の場合は、夫と妻のいずれも市内に住所を有すること)
- ④夫婦のいずれにも市税等の滞納がないこと。
- ⑤助成金の交付を受けようとする不育症治療について、他の助成を受けていないこと。

◎助成額：夫婦1組に対し、年度内で5万円を上限に助成します。(申請回数制限なし)

◎助成期間：初回申請年度を含めた、連続する3年度内を限度とします。

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
負担金補助及び交付金	不育症治療費助成金(実績2件)	77

不育症とは？ 妊娠しても流産や死産などを繰り返す状態をいいます。2回以上流産を繰り返す場合は、検査をお勧めします。データでは不育症と診断された場合も、適切な検査と治療によって、約75%の方が出産されています。(厚生労働省：不育症についてのQ&A)



事業の成果

不育症と診断された方に対して費用の助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図りました。また、広報紙やホームページなどで事業の周知を行うことにより、心身のケアを必要とする方に対して、行政が相談支援の窓口であるという周知啓発につながりました。

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

事業名	汚泥再生処理センター維持管理事業
-----	------------------

担当	市民生活部 環境衛生課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		84,792	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 循環型社会の構築と環境美化・環境衛生の推進
	一般財源	84,792		

事業の目的	
<p>令和3年度から供用開始した汚泥再生処理センターについて、適正な汚泥再生処理を行うとともに性能水準を保ちながら運転管理を実施します。また、民間事業者が薬品購入から定期整備工事及び運転管理までを一括で行うことで、経験豊富なノウハウ、創意工夫を活かし、効率的・効果的な施設運営を図るべく、長期包括的運営管理委託の実施を目指します。</p>	

事業の概要		
<p>施設の安定的な運営体制を確保するため、定期整備や運転管理業務を実施するとともに、公募型プロポーザルにより、令和5年度から実施する長期包括的運営管理委託の事業者を選定しました。</p>		
◎事業の経緯及び今後の予定		
令和元年度	実施設計及び建設工事（令和2年度完成）	
令和3年度	汚泥再生処理センター供用開始 長期包括的運営管理事業者選定に係る発注支援業務	
令和4年度	長期包括的運営事業者の選定	
令和5年度	長期包括的運営管理委託の開始 モニタリング支援業務による業務運営状況の監理	
[令和4年度分] (単位：千円)		
区分	概要	事業費
報償費	プロポーザル選定委員謝礼	66
需用費	薬品等消耗品	12,591
	光熱水費	9,292
	修繕料等	1,014
役務費	農業集落排水汚泥手数料	474
委託料	水質分析、運転管理等	58,841
工事請負費	破砕ポンプ定期整備	2,459
使用料及び賃借料	複写機使用料	15
公課費	自動車重量税	40
合計		84,792



汚泥再生処理センター受入室

事業の成果	
<p>適正な維持管理を実施することにより、環境に配慮した循環型社会形成の推進を図りました。</p>	

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

事業名	管理型最終処分場延命化事業	担当	市民生活部 環境衛生課
-----	---------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		28,970	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 循環型社会の構築と環境美化・環境衛生の推進
	一般財源	28,970		

事業の目的

一般廃棄物最終処分場の適正な運転及び維持管理を行うとともに、ごみの減量とリサイクルを推進することで埋立量を削減し、施設の延命化を図ります。

事業の概要

施設の老朽化した機器を更新し、焼却灰を外部（民間）のリサイクル施設に搬出しました。

[工事概要]

工事名	概要
最終処分場PAS及び高圧ケーブル更新工事	PAS（高圧引込用負荷開閉器）更新 高圧ケーブル更新
最終処分場排砂池フェンス設置工事	コンクリート敷設置工事 フェンス設置工事

[焼却灰外部委託概要]

搬出先	所在地	概要
中央電気工業株式会社	鹿嶋市	焼却灰を熔融し、スラグとして路盤材等土木資材へリサイクル
渡辺産業株式会社	日光市	焼却灰を特殊硬化剤で無害化处理し、道路路盤材等へリサイクル

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	焼却灰運搬処理委託 (外部リサイクル施設)	23,316
工事請負費	最終処分場PAS及び 高圧ケーブル更新工事	5,577
負担金補助 及び交付金	環境保全協力金(鹿嶋市)	77
合計		28,970



一般廃棄物最終処分場

事業の成果

PAS及び高圧ケーブルを更新し、施設の延命化が図られました。また、清掃センターから排出された焼却灰をリサイクルすることにより、循環型社会形成の推進に寄与しました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	土浦ブランドアッププロジェクト推進事業	担当	産業経済部 農林水産課
-----	---------------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		3,544	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	3	「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	多様なニーズに対応する農業の振興
	一般財源	3,544			

事業の目的


本市は首都東京から約60km圏内に位置し、日本一の生産量を誇るレンコンを始め、米、葉菜、根菜、果実、花き、畜産と多種多様な農業地域となっています。また、霞ヶ浦の水産資源にも恵まれています。この豊富な農林水産物やその加工品をPRすることで、本市のブランド力を底上げし、交流人口の増加及びまちのにぎわい創出に繋がります。

事業の概要

多種多様な農業地域や水産資源が生み出す、豊富な農林畜水産物やその加工品を「土浦ブランド」として認定し、現在は総数で38品目を数えます。認定品をPRすることで、本市のブランド力を底上げし、交流人口の増加及びまちのにぎわい創出に取り組みました。

◎ブランド認定品販売会

土浦ブランド認定品の知名度アップを目的として、ブランド認定品販売会を市内で開催されるイベントとタイアップするなど、本市の気候、風土、歴史、自然が感じられる逸品をPRしました。



◎土浦ブランドPR事業

土浦ブランド認定品のPR動画を企画・制作し、市公式YouTubeやSNSをはじめ、デジタルサイネージなど様々な広告媒体を活用して発信しました。また、紹介看板の設置やパンフレットを一新して、認知度の向上を図りました。



[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	協議会開催費	56
需用費	PRグッズ作成費等	924
役務費	イベント出店時手数料	8
委託料	PR動画制作委託費	1,763
使用料及び賃借料	施設使用料	157
備品購入費	紹介看板購入設置費	636
合計		3,544

事業の成果

県内外の参加者が集うイベントにおいてブランド認定品の販売会を開催したことにより、「土浦ブランド」や本市の魅力を広くPRすることができました。また、認定品パンフレットの刷新、案内看板の設置や動画の制作・公開により、「土浦ブランド」を紹介する機会が増えて、認知度を高め、ブランド力の底上げに繋がることができました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	日本一のれんこん産地推進事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)
-----	--------------------------------------

担当	産業経済部 農林水産課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		12,837	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	12,837	基本目標	3	「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	多様なニーズに対応する農業の振興
	一般財源	0			

事業の目的

土浦市内外の一般消費者に対し、土浦市が日本一のれんこんの産地であることを広く認識してもらうことで、付加価値を向上させ、特産品であるれんこんの需要喚起を図ります。

事業の概要

土浦産のれんこんの付加価値向上、新型コロナウイルスの影響による需要減少などで収益が落ち込んだ生産農家の収益性向上及び地域の活性化を図るために、令和4年8月より、土浦駅発着の市外路線バス10台について「日本一のれんこん産地つちうら」とメッセージを掲出したラッピング加工を行い、産地のPRを実施しました。

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
役務費	バスラッピング広告料	12,837
合計		12,837

【後面】



【側面】



ラッピングバス車体

事業の成果

土浦駅発着の路線バス10台において「日本一のれんこん産地つちうら」を掲げて走行することで、市内外の多くの方の目に留まり、れんこん生産量日本一を広くPRすることができました。また、土浦市産れんこんの需要喚起につながり、付加価値向上及び地域の活性化を図ることができました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	農業資材価格等高騰対策支援事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)
-----	---------------------------------------

担当	産業経済部 農林水産課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		13,700	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	13,700	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 多様なニーズに対応する農業の振興
	一般財源	0		

事業の目的

新型コロナウイルス感染症による需要減少や収益性低下などに加え、農業生産経費高騰等の影響を受ける地域農業の担い手（認定農業者等）を支援し、農業生産意欲の向上を図ります。

事業の概要

市内に住所を有する個人または主たる事業所を有する法人等の認定農業者及び認定新規就農者に対して、支援金として一律10万円を支給しました。

◎対象者

- ・ 認定農業者 192経営体（令和4年9月末時点）
- ・ 認定新規就農者 13経営体（令和4年9月末時点）

※認定農業者とは、農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を土浦市から認定を受けた農業者を言います。

※認定新規就農者とは、認定農業者の基準とは多少異なりますが、農業経営の開始から5年以内で、耕作面積の拡大等を行いながら、認定農業者と同様に計画目標を設定して就農する者のうち市が認定した者を言います。

[令和4年度分]

(単位：千円)

区 分	概 要	事業費
補助金	支援金	13,700
合 計		13,700

事業の成果

農業資材等の高騰は、多くの農業者、特に担い手として農業経営規模の拡大に取り組む認定農業者や認定新規就農者は、非常に大きな影響を受けていましたが、支援金の交付により将来的な地域農業の安定化に寄与しました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	水稲生産継続支援事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)
-----	----------------------------------

担当	産業経済部 農林水産課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		7,769	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	7,769	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 多様なニーズに対応する農業の振興
	一般財源	0		

事業の目的

新型コロナウイルス感染症による需要減少や、米価下落による収益性低下などに加えて、農業生産経費高騰等の影響を大きく受ける水稲（主食用米）生産農業者を支援し、地域の水田農業生産体制の維持を図ります。

事業の概要

主食用米の生産は、これまでの需要減少・価格低下に加え、農業生産資材等の高騰などで、経営の継続が困難となれば、水田の耕作放棄地が一斉拡大するおそれもあり、非常に大きな影響を受ける可能性があります。そのため、市水田営農実施計画書に記載されている農地で、主食用米に位置づけられている水稲品種を、販売目的で生産する農業者に対し、10アール(1,000㎡)あたり2,000円の支援金を支給しました。

◎対象

- ・対象面積 6,462,600㎡（自家消費分として各自1,000㎡分は対象外とする。）
- ・対象者
 - (1) 令和4年度土浦市水田営農実施計画書を提出し、計画書において主食用米に位置づけられている水稲品種を50アール以上生産し、主食用米として販売出荷していること。
 - (2) 市内において住所を有する個人及び生産組合又は市内に主たる事業所を有する法人であり、農業収入を有すること。
 - (3) 補助金の交付後も市内において水稲生産を継続する意思があること。
 - (4) 市税を滞納していないこと。
 - (5) 土浦市暴力団排除条例（平成23年土浦市条例第9号）第2条第3号に規定する暴力団員等ではないこと。
 - (6) 土浦市農業資材価格等高騰対策補助金の交付決定を受けていないこと。

[令和4年度分]

(単位：千円)

区 分	概 要	事業費
補助金	支援金	7,769
合 計		7,769

事業の成果

今回の水稲生産継続支援金の交付により、主食用米生産農家の負担軽減を図り、生産継続を支援することが出来ました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	畑地帯総合整備事業（虫掛地区）	担当	産業経済部 農林水産課
-----	-----------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		1,104	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 多様なニーズに対応する農業の振興
	一般財源	1,104		

事業の目的

虫掛地区において、不整形なほ場の道路や水路等の農業生産基盤を整備することにより、営農に係る省力化・機械化を図り、生産性の高い営農基盤の確立を図ります。

事業の概要

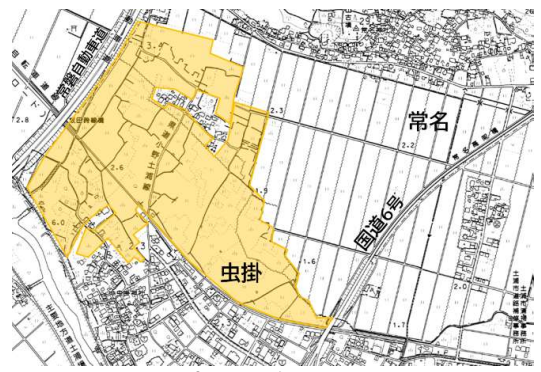
◎これまでの経緯
当該地区は、不整形なほ場の道路や未整備の水路等により耕作しにくい状況にあり、耕作放棄地が増加傾向にあることから、農業生産基盤整備の実施に向けて、茨城県が主体となり、事業計画調査や計画書作成等を進めています。

◎事業概要

- ・事業主体 茨城県
- ・事業内容 用水路整備、排水路整備等
- ・負担割合 国50%、県27.5%、市10%、地元12.5%

◎実施事業
国の事業採択のための事業計画書の作成

- ・事業計画書作成負担金 1,104千円（県へ）※負担割合：県50%、市50%



事業対象地区

事業の成果

国の事業採択に向けた事業計画書を作成しました。今後は、施行申請を行い、計画確定後、実施設計や工事等の基盤整備を実施していきます。
また、ほ場を整備することにより農業生産基盤を充実させ、作物の高収益化と農地利用の集積及び経営規模の拡大を図ります。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	一般地帯土地改良事業
-----	------------

担当	産業経済部 農林水産課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		45,493	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	8,460	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債	30,100		
	その他		政策方針	3 多様なニーズに対応する農業の振興
	一般財源	6,933		

事業の目的

農用地区域の道路及び水路の環境整備により機械化農業に貢献するとともに、排水路としての機能回復や用水源としての活用により営農効率を高め、農業経営の安定を図ります。

事業の概要

◎農道整備

- ・農用地区域の道路総延長 約357km
⇒令和4年度末の整備延長 198.9km (約56%)
- ・農道改良工 (木田余地区) L=97m ※令和3年度からの繰越分
- ・農道舗装工 (大岩田地区外1地区) L=154m

◎かんがい排水整備

- ・農用地区域の排水路総延長 約93km
⇒令和4年度末の整備延長 21.1km (約23%)
- ・排水路整備工 (神立町地区外2地区) L=253m



農道舗装

[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	農道改良	14,234
合計		14,234

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	測量、実施設計	4,749
工事請負費	農道舗装、排水路整備	26,510
合計		31,259



排水路整備

事業の成果

農道整備により大型機械の進入が可能になるとともに、排水路の機能回復によって営農効率が高まり、農業経営の安定化と遊休農地の一部解消が図られました。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

事業名	土浦市 I T オフィス環境整備補助事業
-----	----------------------

担当	産業経済部 商工観光課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		2,000	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	3	「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	4	持続可能な市内産業の振興
	一般財源	2,000			

事業の目的

市内へのオフィス移転を促進するため、市内の空きオフィス物件の所有者又は空きオフィス物件へ進出する企業に対し、オフィスの I T 環境整備等に係る経費の一部を補助することにより、本市産業の振興及び雇用機会の拡大を図ります。

事業の概要

◎事業内容

- ・補助対象者 市内空きオフィス所有者及び進出企業
- ・補助対象経費 O A フロア整備費、インターネット環境整備費等
- ・補助金額 補助対象経費の1/2 (上限額2,000千円)

◎事業対象

- ・申請時点で3ヶ月以上事業活動の用に供されていない空きオフィスビルであること
- ・補助金の交付決定があった日以後に I T オフィス環境整備に係る工事に着工する者であること
- ・風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律により営業の許可又は届出を要する事業でないこと
- ・市税を完納していること
- ・暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する者でないこと
- ・進出企業にあつては、茨城県 I T 関連企業等オフィス賃料補助金の交付決定を受ける予定であること

◎実績

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	申請件数 (件)	事業費
補助金	土浦市 I T オフィス環境整備事業費補助金	1	2,000
合計		1	2,000

事業の成果

市内空きオフィスの I T 環境整備を推進し、新たな成長分野に係る I T 関連企業等の市内進出により、雇用確保と地域経済の活性化につながりました。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

事業名	プレミアム付商品券発行事業
-----	---------------

担当	産業経済部 商工観光課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		376,085	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	376,084	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	4 持続可能な市内産業の振興
	一般財源	1		

事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、低迷している地域経済の再生・活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行することで地域消費の喚起、消費者の購買意欲の向上を図り、甚大な影響を受けている事業者の支援を行います。

事業の概要

(第3弾) コロナに負けるな! 応援チケット (プレミアム付商品券) 発行事業

◎内容

- ・事業主体 土浦商工会議所
- ・発行総額 680,000千円 (販売総額：340,000千円)
- ・プレミアム率 100%
- ・券額面 1セット10,000円の商品券を5,000円で販売
(全店共通券500円×14枚+特別応援店専用券500円×6枚)

◎実績

- ・発行総数 68,000セット (1世帯1セット)
- ・販売期間 令和4年9月1日～令和4年10月31日
- ・販売実績 68,000セット ※完売
- ・利用期間 令和4年9月1日～令和5年2月28日
- ・対象店舗 722店舗 (うち特別応援店専用券該当408店舗)
- ・換金実績 675,055千円 ※換金率99.3%



全店共通券500円



特別応援店専用券500円

事業の成果

プレミアム商品券発行事業を実施したことにより、地域消費の喚起とともにコロナ禍により売上減少等の影響を受けている事業者への支援に寄与しました。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

事業名	緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金支給事業	担当	産業経済部 商工観光課
-----	-------------------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		135,400	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	131,350	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	4 持続可能な市内産業の振興
	一般財源	4,050		

事業の目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、茨城県が発出した緊急事態宣言等に伴い、売上げが急減している市内事業者に対し、事業継続を支えるため、事業者支援一時金を支給しました。

事業の概要

◎事業内容

1事業者につき「茨城県営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金」支給金額の半額を支給します。

1回目：令和3年1・2月分 一律10万円（県の支給額：20万円）

2回目：令和3年4～6月分 一律10万円（県の支給額：20万円）

3回目：令和3年8・9月分 売上により10～250万円（県の支給額：20～500万円）

4回目：令和4年1～3月分 売上により10～250万円（県の支給額：20～500万円）

◎支給要件

- ・「茨城県営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金」を受給していること
- ・本市内に主たる事業所を有する法人又は個人事業者であること
- ・事業収入を得ており、今後も本市内で事業継続意思があること

◎実績

[事業費]

(単位：千円)

区分	概要		申請件数 (件)	事業費
扶助費	土浦市事業者支援一時金	令和3年度から の繰越分	16	4,050
		令和4年度分	450	131,350
合計			466	135,400

事業の成果

コロナ禍により売上減少等の影響を受けている事業者に向けた支援を行うことで、事業者の生活支援と市産業の維持・継続に寄与しました。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

事業名	貨物自動車運送事業者支援金支給事業
-----	-------------------

担当	産業経済部 商工観光課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		45,600	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	45,600	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	4 持続可能な市内産業の振興
	一般財源	0		

事業の目的

原油価格高騰による燃料費上昇の影響を受け、諸経費の増大に直面する貨物自動車運送事業者に対し、貨物自動車運送事業者支援補助金を支給することで、事業継続に向けた支援を行います。

事業の概要

◎事業内容

市内に事業所を有する道路貨物自動車運送事業者に対し、市内事業所が管理する車両台数により算定した支援金を支給します。

◎支給対象

市内に事業所を有する道路貨物運送事業者

※貨物自動車運送事業法第3条若しくは第35条第1項の許可を受け、又は同法第36条第1項の届出をし、道路貨物運送業を主な事業として営んでいる事業者

◎支給内容

- ・ 固定支給1事業者あたり10万円
- ・ 車両支給1台あたり2万円（車両支給の限度額40万円）

◎支給実績

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業者数 (件)	事業費
補助金	土浦市貨物自動車運送事業者支援補助金	149	45,600
	合計	149	45,600

事業の成果

原油価格高騰による燃料費上昇などで経営に大きな影響を受けている貨物自動車運送事業者に対し、支援金を支給することで、事業継続に寄与しました。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

事業名	土浦全国花火競技大会開催事業
-----	----------------

担当	産業経済部 商工観光課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		84,503	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 地域の魅力を生かした観光のまちづくり
	一般財源	84,503		

事業の目的

本市が誇る土浦全国花火競技大会の一層の充実を図り、煙火技術の向上に貢献するとともに、花火のまち「土浦」であることを全国に発信して、本市のイメージアップと観光による交流人口の拡大を図ります。

事業の概要

◎第91回土浦全国花火競技大会

- (1) 日 時 令和4年11月5日（土）競技開始：午後5時30分、競技終了：午後8時15分
- (2) 場 所 桜川畔（学園大橋付近）
- (3) 観 客 数 約45万人（前回（第88回）約65万人）
- (4) 競技内容 スターメインの部：22台、10号玉の部：45発、創造花火の部：22組 計89作品
- (5) 余興花火 ワイドスターメイン「土浦花火づくし」、エンディング花火、広告仕掛花火等

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
補助金	花火大会事業補助金	84,503



スターメインの部優勝
野村花火工業（株）



10号玉の部優勝
（株）山崎煙火製造所



創造花火の部優勝
（株）ホソヤエンタープライズ



ワイドスターメイン
「土浦花火づくし」

事業の成果

新型コロナの影響により3年ぶりとなった今大会は、絶好のコンディションのもとで競技花火や余興花火を打ち上げ、全国各地から約45万人の来場がありました。

大勢の観客が訪れたことで、大きな経済効果を生むとともに、全国から注目される花火大会を開催することにより、本市のイメージアップが図られました。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業
-----	-----------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		334,971	リーディングプロジェクト	4 安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり
財源内訳	国県支出金	149,784	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	118,600		
	その他		政策方針	1 時代の変化に対応した防災のまちづくり
	一般財源	66,587		

事業の目的

橋梁の耐震性の向上を図り、災害時における緊急輸送道路等を確保するとともに、長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ予防的な修繕を行うことで道路交通の安全性を確保します。

事業の概要

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、道路交通の安全性と信頼を将来にわたり確保するとともに、予算の平準化を図りました。

[令和3年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
橋梁架替工事委託	常磐線3号橋(二番橋)	22,130
耐震・長寿命化工事	国道六号7号橋、国道六号10号橋外1橋	96,614
合計		118,744



国道六号7号橋
(耐震対策実施)

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
耐震・長寿命化詳細設計委託	新川六号橋	1,790
橋梁架替工事委託等	常磐線3号橋(二番橋)、特別調査	79,125
耐震・長寿命化工事	新川5号橋、常磐線3号橋(二番橋)上部製作外4橋	130,502
借地料等	常磐線3号橋(二番橋)	3,490
補償補填及び賠償金	電柱移設	1,320
合計		216,227



新川5号橋
(長寿命化修繕実施)

[令和5年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
役務費	不動産鑑定	209
耐震・長寿命化詳細設計委託	新川六号橋	5,118
橋梁架替工事委託	常磐線3号橋(二番橋)	20,519
耐震・長寿命化工事	常磐線3号橋(二番橋)上部製作、国道六号1号橋外2橋	80,345
合計		106,191

事業の成果

橋梁の耐震性を向上させ、地震災害時における緊急輸送道路等の通行確保を図るとともに、老朽化が進んだ橋梁を計画的に修繕し、利用者の安心・安全を図るため、橋梁の耐震・長寿命化工事を8橋、設計委託を1橋実施しました。また、橋梁の架替工事を1橋進めました。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	道路新設改良事業
-----	----------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		542,017	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	68,079	基本目標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	395,900		
	その他		政策方針	2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	78,038		

事業の目的

幹線道路（Ⅰ級幹線、Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事、歩道整備や生活道路・狭隘な市道の拡幅工事、舗装工事、交通安全施設工事等を計画的に進めることにより、道路機能の向上と道路網確立を図ります。

事業の概要

日常生活の利便性向上及び地域環境改善のため、次の工事を実施しました。

- ① 市道虫掛66号線 L = 270 m W = 8.0~12.0 m
- ② 市道Ⅰ級5号線 L = 150 m W = 6.0 m
- ③ 市道烏山119号線 L = 85 m W = 4.0 m
- 外 17件 L = 1,833 m W = 4.0~6.0 m

[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
測量、設計委託費	5件 延長 1,055m	18,086
舗装、改良、排水工事費	17件 延長 2,083m	257,480
用地取得費	3路線 面積 43㎡	141
物件移転補償費	立木、工作物、電柱移設費等	1,526
合計		277,233



市道虫掛66号線整備状況

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
測量、設計委託費	11件 延長 2,105m	35,161
舗装、改良、排水工事費	3件 延長 255m	127,131
交通安全施設工事費	区画線、路面標示等	2,684
用地取得費	19路線 面積 821㎡	10,804
物件移転補償費	立木、工作物、電柱移設費等	77,793
役務費	鑑定料、登記料	9,836
事務費等		1,375
合計		264,784



市道Ⅰ級5号線整備状況

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
測量、設計委託費	8件 延長 2,150m	23,362
舗装、改良、排水工事費	15件 延長 1,533m	192,035
用地取得費	11路線 面積 1,050㎡	3,152
物件移転補償費	立木、工作物、電柱移設費等	9,572
合計		228,121



市道烏山119号線整備状況

事業の成果

幹線道路（Ⅰ級幹線、Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事、生活道路・狭隘な市道の拡幅改良工事、舗装工事及び交通安全施設工事を計画的に進めることにより、日常生活の利便性向上と地域環境の改善、さらには歩行者及び自転車通行の安全確保に寄与しました。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業
-----	----------------------

担当	建設部 下水道課
----	-------------

(単位：千円)

決算額		64,124	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	39,386	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	16,000		
	その他		政策方針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一般財源	8,738		

事業の目的

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。

事業の概要

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する下水道施設の整備工事等を実施しました。なお、都市下水路整備事業については、国から交付される特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用しています。

◎都市下水路整備事業

- ・西根竹の入都市下水路施設整備工事 U2,000mm×1,400mm L=44.1m
- ※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用 U2,200mm×1,900mm L=6.9m

◎小規模排水路整備事業

- ・虫掛地内小規模排水路施設整備工事 L=108.0m
- ・中荒川沖町地内小規模排水路整備工事 L=67.4m

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
都市下水路整備費	工事1件	44,781
小規模排水路整備費	工事1件	19,343
合計		64,124

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
小規模排水路整備費	工事1件	25,720



西根竹の入都市下水路



虫掛小規模排水路

事業の成果

都市下水路施設及び小規模排水路施設の整備を行い、大雨による浸水被害の減少を図りました。今後も計画的に雨水を速やかに排除する下水道施設の整備等を行うことにより、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	地域公共交通確保維持改善事業	担当	都市政策部 都市計画課
-----	----------------	----	----------------

(単位：千円)


決算額		47,159	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	47,159			

事業の目的
 地域公共交通計画に基づき、「利用者が地区特性に応じた公共交通で快適に移動できるまち」の実現に向けた取り組みを推進します。

事業の概要
 土浦市地域公共交通計画に基づき、各種交通施策に取り組みました。

◎計画区域 本市全域
 ◎計画期間 令和4年度～令和8年度（土浦市地域公共交通計画）
 ◎主な事業内容


- 公共交通PR事業（公共交通マップの作成、マイ時刻表サービスの実施等）
- 地域公共交通計画に位置付けたコミュニティ交通導入促進地域における、コミュニティ交通「つちまるバス」の新規導入及び利用促進
- つちうらMa a Sの実証実験への参画
- 路線バスの運行に係る支援
- 地域、事業者、関係団体等との協働による公共交通ネットワークの確保・維持・改善等



つちまるバス

[令和4年度分] (単位：千円)

概要	事業費
協議会負担金（地域公共交通確保維持改善事業、公共交通PR事業等）	24,834
新たな公共交通導入に関する市民意向調査費用	17
バス運行対策費負担金（地域幹線系統への県との協調補助）	3,127
つちうらMa a S推進協議会負担金	15,623
霞ヶ浦広域バス・千代田神立ライン運行補助金	3,558
合計	47,159



グリーンスローモビリティ (つちうらMa a S)

事業の成果
 令和3年度に導入したつちまるバス（中村南・西根南地区経由）に続き、令和4年度はつちまるバス（右叵地区経由）の実証運行を開始することで、公共交通不便地域の解消に寄与しました。
 また、新型コロナウイルス感染症拡大により収入が減少したバス路線に対し、県や沿線自治体との協調補助を行うことにより、公共交通の維持に寄与しました。
 そのほか、つちうらMa a S推進協議会に参画し、おおつ野地区を中心とした観光資源を活かした新モビリティの実証実験等を通して、地域内外の活性化に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	都市計画マスタープラン策定（見直し）事業・ 立地適正化計画策定（見直し）事業	担当	都市政策部 都市計画課
-----	---	----	----------------

（単位：千円）

決算額		9,091	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	2,200	基本目標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一般財源	6,891		

事業の目的

都市計画マスタープランの計画期間20年（平成26年度～令和15年度）の中間期及び立地適正化計画（平成29年度～令和15年度）の概ね5年毎の見直し時期にあたり、少子高齢化の進展、都市防災に関する機能の確保等、社会経済情勢等の変化に対応した都市構造を実現するため、将来都市像や都市づくりの目標を明示し、総合的な都市づくりの基本方針を示します。

事業の概要

令和4年度、5年度の2カ年に渡り、互いの整合性を図りつつ、計画の策定（見直し）を進めています。

◎計画区域 本市全域

◎計画期間 令和6年度～令和15年度

◎計画内容

都市計画マスタープラン	立地適正化計画
① 計画の基本事項	① 計画の基本事項
② 本市の現況及び課題	② 本市の現況及び課題
③ 都市づくりのビジョン	③ 立地適正化の基本的な方針
④ 都市づくりの方針（分野別方針）	④ 誘導区域の設定
⑤ 地域づくりの方針（地域別方針）	⑤ 誘導施設の設定
⑥ 計画の推進体制	⑥ 誘導施策の方針
	⑦ 防災指針
	⑧ 計画の推進体制

[令和4年度分]

（単位：千円）

区 分	事業費
都市計画マスタープラン策定（見直し）委託料	4,118
立地適正化計画策定（見直し）委託料	3,683
アンケート調査・審議会運営等（消耗品・委員報酬等）	1,290
合 計	9,091



都市計画審議会の様子

※「都市計画マスタープラン」は、総合計画に位置付けられた施策のうち、都市政策の分野を受け持ち、将来の都市づくりの指針となる計画です。「立地適正化計画」は、拠点となるエリアに都市機能を誘導するとともに、その周辺のエリアへ居住を誘導することで、将来に渡って都市の活力と住民の生活利便性を維持し、持続可能なまちづくりを推進するための計画です。

事業の成果

令和4年度は、都市計画審議会を3回開催し、都市計画マスタープランは、都市づくりのビジョン、都市づくりの方針（分野別方針）等について、また、立地適正化計画は、立地適正化の基本的な方針等について協議を重ねました。併せて、市民及び事業者を対象としたアンケートや住民意見交換会等を実施し、広く意見を募りつつ計画案の作成を進めました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	スマートインターチェンジ整備事業
-----	------------------

担当	都市政策部 都市計画課
----	----------------

決算額	3,850	リーディングプロジェクト	3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり	
財源内訳	国県支出金	基本目標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり	
	地方債		政策方針	2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	その他			
	一般財源			3,850

事業の目的

スマートインターチェンジの設置は、市民の利便性向上や地域生活の充実はもちろんのこと、交流人口の増加、市内渋滞箇所の回避によるアクセス時間の短縮、アクセス圏の拡大に伴う新たな土地利用創出による企業誘致の促進や物流の効率化など、広域的な整備効果が期待できることから、設置に向けた検討を行います。

事業の概要

スマートインターチェンジは、地域生活の充実や地域経済活性化が期待できることから、整備に向けた検討を進めました。

◎事業期間 令和2年度～

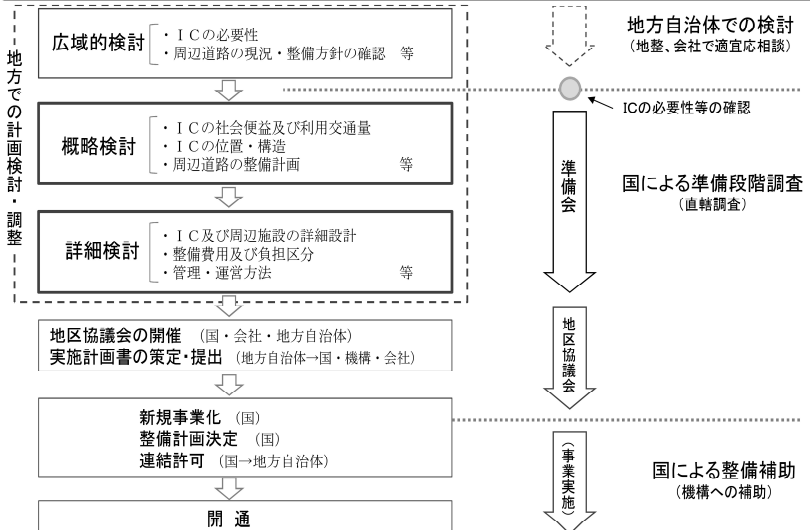
[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	現況平面図作成委託料	3,850
合計		3,850

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	スマートインターチェンジ設置検討調査委託料	20,823
合計		20,823

- スマートICの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査(直轄調査)を実施(準備段階調査)。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



※スマートインターチェンジとは高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、通行可能な車両(料金の支払い方法をETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジ)を利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

スマートインターチェンジ設置の流れ

事業の成果

令和4年度は、現況平面図作成業務及びスマートインターチェンジ設置検討調査を行い、現況平面図の作成や予備設計、交通量推計、整備効果の検討等を実施しました。また、国の相談会に参加するなど、国、県、及びNEXCO等の関係機関と協議を行い、スマートインターチェンジ設置に向けた検討を実施しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業	担当	都市政策部 都市計画課
-----	-----------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		4,474	リーディングプロジェクト	2	未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	2	未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	4,474			

事業の目的

歴史的風致維持向上計画を策定し、国の支援等を活用しながら計画に位置付けた措置を講ずることにより、本市における固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた、良好な市街地環境（歴史的風致）の維持及び向上を図ります。

事業の概要

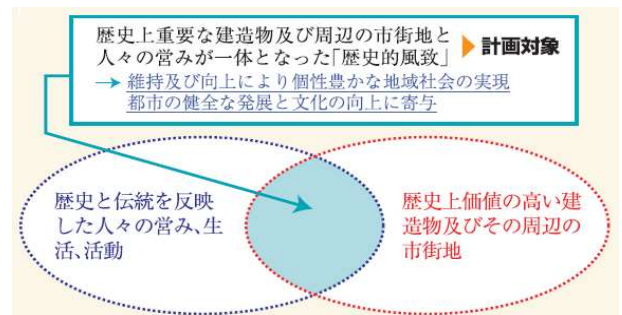
令和4年度、5年度の2カ年に渡り、土浦市歴史的風致維持向上計画推進協議会及び関係省庁との協議を踏まえつつ、本計画の策定を進めています。

◎計画区域 本市全域

◎計画期間 令和6年度～令和15年度

◎計画内容

- ①歴史的風致形成の背景
- ②維持向上すべき歴史的風致
- ③歴史的風致の維持及び向上に関する方針
- ④重点区域の位置及び区域
- ⑤文化財の保存又は活用に関する事項
- ⑥歴史的風致維持向上施設の整備・管理に関する事項
- ⑦歴史的風致形成建造物の指定の方針
- ⑧歴史的風致形成建造物の管理の指針



活動：八坂神社祇園祭



建造物：八坂神社拝殿

歴史的風致のイメージ

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	計画策定委託料	4,034
報償費等	協議会運営等（委員報酬等）	440
合計		4,474

事業の成果

令和4年度は、土浦市歴史的風致維持向上計画推進協議会を3回開催し、維持向上すべき歴史的風致、歴史的風致の維持及び向上に関する方針、重点区域の位置及び区域、文化財の保存又は活用に関する事項等について協議するとともに、土浦市文化財保存活用地域計画など、関連計画との整合を図りつつ、計画案の作成を進めました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	地域交通関連事業者運行継続緊急支援事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)	担当	都市政策部 都市計画課
-----	---	----	----------------

(単位：千円)

決算額	17,925	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり	
財源内訳	国県支出金	17,925	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	0			

事業の目的

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少する中、市民の重要な移動手段である公共交通等の運行継続に努めている交通関連事業者に対し、事業継続の支援をします。

事業の概要

◎事業内容

土浦市地域交通関連事業者運行継続緊急補助金

市民の移動手段を確保・維持するため、市内に本社を置く地域交通関連事業者である以下の各事業者に対し、車両保有台数に応じた補助金を交付しました。

[対象事業者及び交付額]

区分	乗合バス	貸切バス	タクシー 乗合タクシー	運転代行業
対象	市内に本社または支店がある事業者	市内に本社がある事業者	市内に本社がある事業者	市内に本社がある事業者
交付額	75千円／台	50千円／台	25千円／台	20千円／台

◎実績

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	内訳	事業費
地域交通関連事業者運行継続緊急補助金	乗合バス事業者3社 (107台)	8,025
	貸切バス事業者7社 (45台)	2,250
	タクシー事業者19社 (262台)	6,550
	運転代行業事業者18社 (55台)	1,100
合計		17,925

事業の成果

市民の重要な移動手段である公共交通等の運行継続に努めている事業者へ補助金を交付することで、バス路線等の公共交通の維持に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業
-----	-----------------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

決算額		266,309	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	212,300			
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一般財源	54,009			

事業の目的

かすみがうら市と一部事務組合を設立し、神立駅周辺地区において、土地区画整理事業により西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進します。

事業の概要

神立駅西口地区において、西口駅前広場、アクセス道路の神立停車場線等の都市施設を土地区画整理事業により一体的に整備し、駅前にふさわしい市街地の形成を図ります。

- ・地区面積：2.2ha（土浦市 1.3ha、かすみがうら市 0.9ha）
- ・施行期間：平成24年度～令和5年度
- ・都市施設概要：都市計画道路神立停車場線 W=22m、L=23m
（西口駅前広場 約4,800㎡を含む。）
都市計画道路神立駅前西通り線 W=15m、L=210m
- ・総事業費：56.3億円

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
負担金	建物等移転補償費、 公共施設整備工事等	129,286
	現場事務所諸経費	2,159
	派遣職員人件費	25,133
	剰余金	6,074
	建物等移転補償費、 公共施設整備工事等 (令和5年度への繰越分)	103,657
合計		266,309



神立駅西口駅前広場周辺整備状況

事業の成果

令和4年度は、前年度から継続して、西口駅前広場など公共施設整備工事を施工しました。工事の進捗に伴い、令和4年9月に神立駅西口駅前広場が一部供用開始されたことにより、利用者の安全が確保されるなど、駅前の交通環境について利便性の向上が図られました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業	担当	都市政策部 都市整備課
-----	----------------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		5,519	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
一般財源	5,519				

事業の目的

インターチェンジ周辺地区を、広域交通ネットワークを活かした産業発展を促す拠点として適切な土地利用の誘導を行うことにより、民間事業所等の立地促進を図ります。

事業の概要

茨城県の「未来産業基盤強化プロジェクト」の立ち上げに伴い、本市においても新たな産業系土地利用の可能性が見込まれる候補地区の検討を行いました。

抽出した産業系土地利用の可能性が見込まれる候補地について、民間開発事業者視点での産業系土地利用の可能性及び事業実施に向けた条件を把握し、桜土浦インターチェンジ周辺地区で事業化の検討を進めました。

※未来産業基盤強化プロジェクトとは

おおむね半径3km圏内の高速道路インターチェンジ周辺等を対象に産業用地開発地区を設定することで、県が開発計画等の検討段階から企業誘致まで部局横断的な体制で市を支援するものです。



事業化検討エリア

◎令和4年度実施内容

- ・産業系土地利用の可能性と企業立地ニーズ等を確認するため、民間開発事業者ヒアリング及び民間事業者アンケート調査を実施しました。
- ・土地区画整理組合の前段の組織となる準備会を発足させるための発起人の募集について、地権者説明会を開催し、エリア内の地権者の意向調査を実施しました。

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
旅費	旅費	19
委託料	事業者ヒアリング・ニーズ調査委託料	5,500
合計		5,519

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	事業化検討調査委託料	44,556
合計		44,556

事業の成果

調査により、一定の産業系土地利用の可能性と企業立地ニーズが確認できました。今後は、地権者組織となる発起人会を定期的に開催し、事業化に向けた具体的な検討や調整を進めていきます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業
-----	---------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		27,880	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	8,520	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	15,300			
	その他	2,158	政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	1,902			

事業の目的

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、南北方向の道路網強化を図るとともに、近隣の学校への通学路として、児童・生徒の安全を確保します。

事業の概要

令和4年度は、用地買収及び物件補償を実施しました。

事業延長 L=2,900m (I期：2,000m、II期：900m)

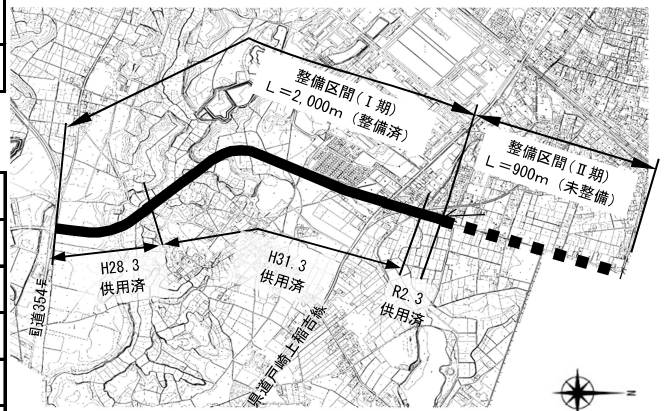
幅員 W=14.0m (歩道2.5m×両側)

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
役務費	不動産鑑定、補償費算定	9,436
公有財産購入費	用地買収	7,990
補償補填及び賠償金	物件補償	10,454
合計		27,880

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
役務費	補償費算定	564
委託料	用地測量	3,600
公有財産購入費	用地買収	24,200
補償補填及び賠償金	物件補償	12,644
合計		41,008



田村沖宿線延伸道路整備事業
L=2,900m W=14m

事業の成果

神立駅東地区及び隣接するかすみがうら市とおおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、総合病院へのアクセス向上が図られます。また、歩行者・自転車の安全な通行帯が確保されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	荒川沖木田余線（I期）整備事業
-----	-----------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		332,699	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	151,024	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	156,000			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
一般財源	25,675				

事業の目的

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（I期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

令和4年度は、道路改良工事を実施しました。

事業延長 L=1,300m

幅員 W=25.0m（歩道3.5m×両側）

[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)

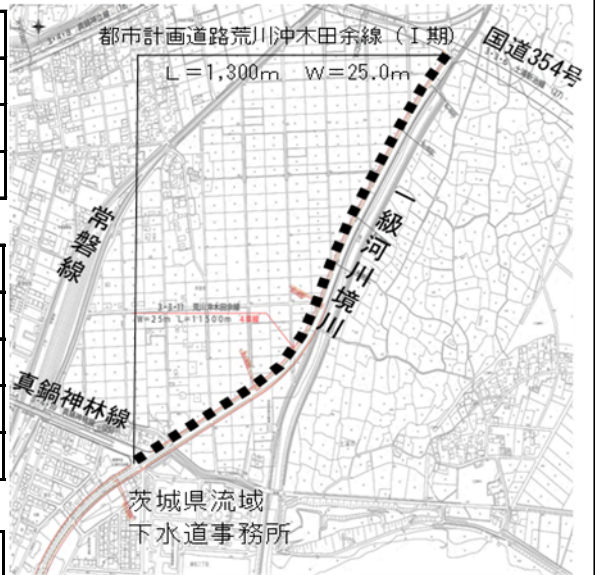
区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事	113,937
補償補填及び賠償金	電柱移設	2,779
合計		116,716

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	草刈清掃等	396
工事請負費	道路改良工事	215,514
需用費等	事務費	73
合計		215,983

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事	252,019
合計		252,019



荒川沖木田余線（I期）整備事業
L=1,300m W=25.0m

事業の成果

当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が期待されるとともに、市街地における交通渋滞の緩和及び安全性の向上が図られます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	荒川沖木田余線（Ⅱ期）整備事業
-----	-----------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		58,539	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	26,122	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	25,100			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
一般財源	7,317				

事業の目的

県道土浦港線（県事業区間除く）から都市計画道路真鍋神林線までの3車線区間（Ⅱ期：L=630m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

令和4年度は用地測量等を実施しました。

事業延長 L=630m
幅員 W=25.0m（歩道3.0m×両側）

[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	道路・橋梁詳細設計、地質調査	54,719
合計		54,719

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	用地測量	3,820
合計		3,820

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
役務費	不動産鑑定、補償費算定	18,268
委託料	用地測量	16,750
合計		35,018

荒川沖木田余線（Ⅱ期）整備事業
L=630m W=25.0m

事業の成果

当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が期待されるとともに、市街地における交通渋滞の緩和及び安全性の向上が図られます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	木田余神立線街路事業（Ⅱ期）
-----	----------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

決算額		236,707	リーディングプロジェクト	3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	115,669	基本目標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	96,800		
	その他		政策方針	2 魅力的な都市環境・住環境の創出
一般財源	24,238			

事業の目的

都市計画道路中貫白鳥線から北側の未整備区間を整備し、南北軸の道路ネットワーク強化を図るとともに、神立小学校の通学路として、児童の安全を確保します。

事業の概要

令和4年度は、用地買収及び物件補償等を実施しました。

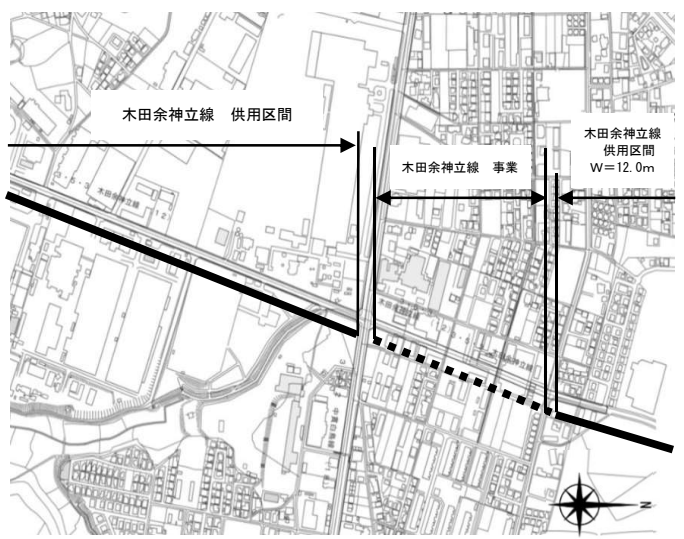
事業延長 L=328m
幅員 W=12.0m (歩道2.5m×両側)

[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	32,718
補償補填及び賠償金	物件補償	116,913
合計		149,631

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
役務費	時点修正	88
公有財産購入費	用地買収	11,178
補償補填及び賠償金	物件補償	75,810
合計		87,076



木田余神立線街路事業（Ⅱ期）
L=328m W=12.0m

事業の成果

歩行者の安全な通行帯が確保されるほか、近隣にある救急告示医療機関である神立病院、広域避難場所である神立公園へのアクセス向上が図られます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	まちなか定住促進支援事業
-----	--------------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		6,858	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	1,000	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一般財源	5,858		

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、定住促進を図る支援制度を実施することにより、居住人口増加による活力とにぎわいのある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

(1) 実施期間：平成26年度～令和5年度（平成26年10月1日開始）

(2) 実施エリア：中心市街地活性化基本計画によって定める中心市街地内

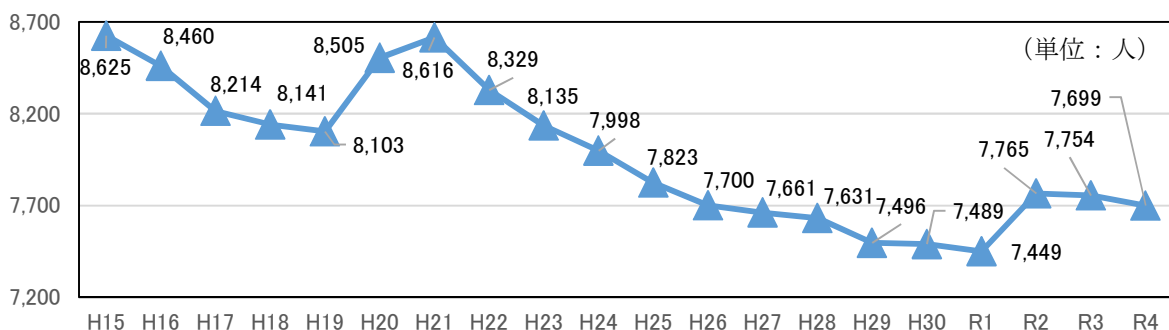
(3) 事業内容

- ①まちなか賃貸住宅家賃補助：市外から中心市街地内の賃貸住宅へ住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円/月）を補助します。
- ②まちなか住宅購入補助：市外から中心市街地内へ住み替える世帯のうち、住宅を購入又は新築する新婚世帯又は子育て世帯に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助します。
- ③まちなか住宅転用補助（令和元年7月開始）：中心市街地内の空きビル等を住宅へ用途変更する方に対して、転用工事費の1/2（上限50万円）を補助します。

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
①賃貸住宅家賃補助	交付決定：25件（継続：19件、新規：6件）	4,393
②住宅購入補助	交付決定：5件	2,465
③住宅転用補助	—	0
合計		6,858



中心市街地の人口推移

事業の成果

令和4年度は、賃貸住宅家賃補助と住宅購入補助申請を合わせて30世帯（世帯構成人数：76人）からの申請があり、中心市街地内での定住促進及び人口集約に寄与しました。

補助の活用による定住促進及び人口集約は、中心市街地内の人口減少の抑制に一定の効果がありました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業	担当	都市政策部 都市整備課
-----	----------------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		3,520	リーディングプロジェクト	3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
一般財源	3,520			

事業の目的

土浦港周辺広域交流拠点基本計画に基づき、土浦港に隣接する川口二丁目の市有地に官民連携による観光拠点を整備することにより、中心市街地の活性化及びにぎわいの創出を図ります。

事業の概要

平成30年度に市が整備した「りんりんポート土浦」に隣接する市有地での、民間活力による集客施設等の整備可能性について、民間事業者とのヒアリングを実施しながら、民間事業者の創意工夫を活かした集客施設の誘致を進め、水辺のにぎわいを創出します。

◎令和4年度実施内容

民間活力による土地活用に向け、当地区に関心を持った事業者との対話を実施するとともに、公募に向けた条件整理や公募要領（案）、基本協定書（案）等の作成を進めました。

[令和3年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	民間事業者進出支援委託料 (公募要領（案）、基本協定書（案）の作成等)	3,520
合計		3,520



位置図

事業の成果

令和4年度は、公募要領（案）及び基本協定書（案）の作成を進め、当地区に関心を持った事業者とのヒアリングを実施する等、事業実施に向けた条件等の検討を進めました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	中心市街地まちなか再生事業
-----	---------------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		5,467	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
一般財源	5,467			

事業の目的

中心市街地活性化基本計画の中で「趣（おもむき）・おもてなしゾーン」として位置づけている中央地区において、既存資源の活用や市街地整備の促進による都市機能の更新など、地域特性を活かしたまちづくり施策の検討を行うことにより、地区全体の活性化を目指します。

事業の概要

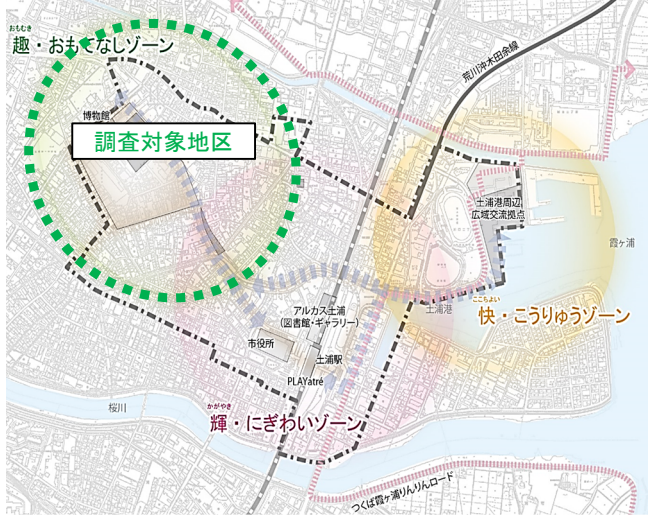
中央地区の機能更新、亀城モールの活用によるにぎわいの創出に向けた検討を行い、土浦駅周辺エリアと亀城公園周辺エリアの間に位置する対象地区の活性化を図ります。

◎令和4年度実施内容

中央一丁目地区において、地域特性を活かしたまちづくり施策の検討を行うとともに、地域住民のまちづくり気運醸成を図るため、勉強会やワークショップを開催しました。

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	中心市街地まちなか再生事業化検討調査委託料	5,379
報償費	まちづくり勉強会・ワークショップ講師謝礼	60
旅費	先進地視察等	28
合計		5,467



位置図

事業の成果

中央一丁目地区における公共公益施設及び民間施設の機能導入、また亀城モールの活用等についての検討を進めました。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	常備消防車両更新事業
-----	------------

担当	消防本部 消防総務課
----	---------------

(単位：千円)

決算額	103,389	リーディングプロジェクト	4 安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり	
財源内訳	国県支出金	15,096	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	80,000		
	その他 一般財源	8,293	政策方針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化

事業の目的	老朽化した消防車両を更新整備し、市民を守る為の消防・救急体制の充実強化を図ります。
-------	---

事業の概要	土浦消防署に配置されている水槽付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)と高規格救急自動車の更新を実施しました。
-------	--



水槽付消防ポンプ自動車



高規格救急自動車

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要		事業費	
旅費	車両中間検査	水槽付消防ポンプ自動車	5	51
		高規格救急自動車	46	
役務費	リサイクル預託金	水槽付消防ポンプ自動車	13	25
		高規格救急自動車	12	
備品購入費	車両購入費	水槽付消防ポンプ自動車	68,321	103,190
		高規格救急自動車	34,869	
公課費	自動車重量税	水槽付消防ポンプ自動車	90	123
		高規格救急自動車	33	
合計			103,389	

事業の成果	消防力の基幹である消防車両を更新整備することにより、救急・救助業務を含む消防体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与しました。
-------	--

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	スクールロイヤー活用事業	担当	教育委員会 指導課
-----	--------------	----	--------------

決算額		703	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	703		

事業の目的

虐待やいじめのほか、学校事故への対応等の諸課題については、法務の専門家への相談を必要とする機会が増加しています。スクールロイヤーによる法務相談体制の構築や、弁護士による児童生徒へのいじめ予防授業を実施することにより、学校におけるトラブルや問題を未然に防止するとともに、法的な知見に基づいて適切な問題の解決を目指します。

事業の概要

- ◎スクールロイヤーによる学校、教育委員会からの法務相談対応
 - ・相談業務 学校、教育委員会からの相談業務を面談、電話、メール等で対応
 - ・同席業務 保護者や関係者と学校等との面談に同席し、中立的な立場から指導助言を行うとともに、法的な見解等について相手方に説明する業務
 - ・講師業務 学校管理職及び学校教職員への法務研修の実施
- ◎弁護士による生徒へのいじめ予防授業の実施
 - ・公立中学校や義務教育学校後期課程の7年生において、いじめ予防のための出前授業を実施

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	スクールロイヤー委託料	208
報償費	いじめ防止授業講師謝礼	495
合計		703



いじめ予防授業

事業の成果

法務相談を10回、講師業務として学校管理職及び教職員への法務研修を5回実施することで、各種事案についてスクールロイヤーからの助言を基に課題解決を図りました。また、公立中学校・義務教育学校の7年生を対象に弁護士によるいじめ予防授業を実施し、人権及びいじめの問題点について生徒が学習する機会となり、学校におけるトラブルや問題を未然に防止することに寄与しました。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	学力向上対策事業	担当	教育委員会 指導課
-----	----------	----	--------------

決算額	12,575	リーディングプロジェクト	1	子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財源内訳	国県支出金	基本目標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他	政策方針	2	時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源		12,575	

事業の目的

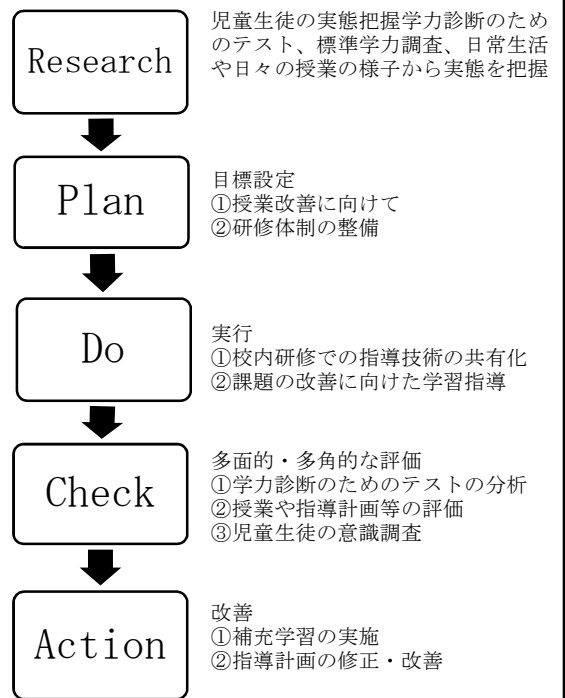
教員が指導力を高めるための研修を支援し、新たな指導方法を学ぶとともに、授業実践を通して児童生徒の学力向上を図ります。

事業の概要

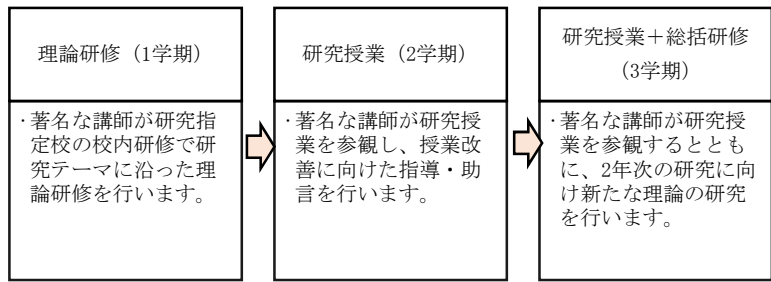
各教科等における指導法など教育課題に対応した学力向上対策として、本市の標準学力調査の結果をもとに、著名な講師による授業改善への指導助言を実施しました。

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	参考図書定期購読料	17
委託料	土浦市標準学力調査委託料	12,408
委託料	学力向上対策研究委託料	150
合計		12,575



◎学力向上対策委託事業



第1回学力向上研修会



公開授業

授業改善プログラム

事業の成果

著名な講師による研修会を合計3回実施しました。第1回研修会では、学力向上に関する講話、第2回と第3回研修会では、低学年1学級、中学年1学級、高学年1学級で授業を公開し、講師から授業改善に関する指導を教員と共有をいたしました。また、研修の内容を各学校で伝達研修を行うことで、児童生徒の学力向上及び学習意欲の向上に寄与しました。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

事業名	上大津地区統合小学校整備事業
-----	----------------

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		25,951	リーディングプロジェクト	1 子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	25,951		

事業の目的	児童数が減少し、学級数が適正規模に満たない小学校がある上大津地区について、「上大津地区小学校適正配置実施計画」（令和5年2月改訂）に基づき、上大津地区に統合小学校を建設します。
-------	--

事業の概要	<p>令和2年11月に策定した上大津地区小学校適正配置実施計画に基づき、土浦第五中学校隣接地を候補地として選定し、統合小学校建設に向け準備を進めてきましたが、近年、候補地周辺の事情が大きく変化し、子どもたちを取り巻く環境が課題となっていたことから、（仮称）土浦市立上大津統合小学校施設整備等検討委員会からの提言内容を踏まえ、改めて上大津東小学校の敷地を北側に拡張した箇所を候補地として選定しました。また、（仮称）土浦市立上大津地区統合小学校整備基本計画を策定しました。</p> <p>[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>概要</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>統合小学校土地評価、不動産鑑定評価、物件補償調査</td> <td>12,919</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>統合小学校整備敷地測量調査委託</td> <td>11,250</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>24,169</td> </tr> </tbody> </table> <p>[令和4年度分] (単位：千円)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>(仮称) 土浦市上大津地区統合小学校整備基本計画（見直し）策定委託</td> <td>1,782</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>1,782</td> </tr> </tbody> </table>	区分	概要	事業費	役務費	統合小学校土地評価、不動産鑑定評価、物件補償調査	12,919	委託料	統合小学校整備敷地測量調査委託	11,250	合計		24,169	委託料	(仮称) 土浦市上大津地区統合小学校整備基本計画（見直し）策定委託	1,782	合計		1,782
区分	概要	事業費																	
役務費	統合小学校土地評価、不動産鑑定評価、物件補償調査	12,919																	
委託料	統合小学校整備敷地測量調査委託	11,250																	
合計		24,169																	
委託料	(仮称) 土浦市上大津地区統合小学校整備基本計画（見直し）策定委託	1,782																	
合計		1,782																	

◎施設整備スケジュール

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計者選定	●	●				
基本設計・実施設計	●	●	●	●		
施工者選定				●	●	
建設工事				●	●	● 開校
既存校舎解体						●

事業の成果	<p>地域の意見が反映された提言内容を踏まえ、建設候補地を改めて選定するとともに、上大津地区の新たな学校づくりを実施するための敷地条件の整理、最適な整備内容の再検討を行い、統合小学校整備基本計画を策定しました。</p> <p>今後は、令和10年度の統合小学校開校を目指し、新校舎建設及び屋内運動場・グラウンド整備等を進め、子どもたちにとってより良い教育環境の確保を図ります。</p>
-------	---

款	教育費	項	小学校費／中学校費
---	-----	---	-----------

事業名	小学校／中学校長寿命化改良事業
-----	-----------------

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

(単位：千円)

決算額		614,345	リーディングプロジェクト	1 子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財源内訳	国県支出金	87,844	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債	254,300		
	その他		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	272,201		

事業の目的

令和2年度に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保します。

事業の概要

◎事業内容

- ・ 神立小学校屋内運動場及び特別教室棟長寿命化改良工事
- ・ 土浦第四中学校校舎棟長寿命化改良工事（1期）
- ・ 都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟長寿命化改良工事実施設計・耐力度調査
- ・ 乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟長寿命化改良工事実施設計・耐力度調査
- ・ 土浦第二中学校武道場長寿命化改良工事実施設計・耐力度調査
- ・ 真鍋小学校耐力度調査

[令和3年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費	
		小学校	中学校
工事監理委託料	長寿命化改良工事監理委託（神立小）	9,790	0
使用料及び賃借料	長寿命化改良工事に伴う仮設校舎賃貸借（土浦四中）	0	16,245
工事請負費	長寿命化改良建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事（神立小、土浦四中）	394,372	121,572
合計		404,162	137,817

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費	
		小学校	中学校
消耗品費	長寿命化改良工事に伴う引越用梱包材等（土浦四中）	0	547
役務費	長寿命化改良工事に伴う仮設校舎建築許可申請手数料（土浦四中）	0	302
委託料	長寿命化改良工事実施設計及び耐力度調査（東小、都和南小、乙戸小、土浦二中、都和中） 耐力度調査（真鍋小） アスベスト等調査（真鍋小、神立小、土浦二中、土浦四中） 産業廃棄物処分（神立小、土浦四中）	47,024	14,252
工事請負費	長寿命化改良建築主体工事増額分（神立小） 機械警備移設工事、LPガス配管移設工事、LANケーブル移設工事（土浦四中）	8,921	1,320
合計		55,945	16,421



神立小学校屋内運動場及び特別教室棟
長寿命化改良工事外観



神立小学校屋内運動場及び特別教室棟
長寿命化改良工事アリーナ



土浦第四中学校校舎棟長寿命化改良工事
内装



土浦第四中学校校舎棟長寿命化改良工事
内装

事業の成果

神立小学校屋内運動場及び特別教室棟長寿命化改良工事、土浦第四中学校校舎棟（1期）長寿命化改良工事を施工しました。構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となるなど、現代社会の要請に応じた学校施設の長寿命化が図られました。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	コミュニティ・スクール導入事業
-----	-----------------

担当	教育委員会 指導課・生涯学習課
----	--------------------

(単位：千円)

決算額		77	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	77		

事業の目的

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のこと、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みで、市内全ての市立小・中学校、義務教育学校への設置を目指します。

事業の概要

新治学園義務教育学校を研究推進校に指定し、「土浦市コミュニティ・スクール推進委員会」を設置して、導入に向けた協議を行いました。

また、各学校長を対象とした学校運営協議会の設置に関する研修会を開催するとともに、校長会や教頭会に参加して、推進委員会の取組や今後の事業展開等の説明をすることで、全校に周知し、情報共有を図りました。

◎推進委員会

- ・第1回（7月）：推進委員会の取組、学校運営の基本方針の承認、今後の予定について
- ・第2回（11月）：地域における学校支援の取組成果と課題について
- ・第3回（2月）：研究推進校としての2年間の取組報告、学校評価、活動の総括について

◎研修会（11月）

- ・講演 土浦市コミュニティ・スクール推進委員会での取組について（講師：推進委員会委員長）
- ・伝達研修 学校運営協議会設置・運営マニュアルについて



推進委員会の開催状況



研修会の開催状況

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	委員報酬（延べ23名）	69
	研修会講師謝礼	8
合計		77

事業の成果

市立小・中学校、義務教育学校への学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置及び運営に関する検討を行い、令和5年度からの導入に向けての体制づくりが図られました。

今後の学校運営に地域の声を積極的に生かした、地域と一体となった特色ある学校づくりの推進が期待できます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	指定文化財等管理事業	担当	教育委員会 文化振興課
-----	------------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		2,541	リーディングプロジェクト	2	未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金	1,577	基本目標	2	未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	964			

事業の目的

文化財保護法の改正により、文化財の保存や活用を総合的・計画的に推進するための枠組みが制度上位置付けられたことから、本市においても地域の文化財をまちづくりの核としてその継承に取り組み、計画的な保存活用の促進や文化財の保護を行うため、文化庁が推進する「文化財保存活用地域計画」の策定を目指します。

事業の概要

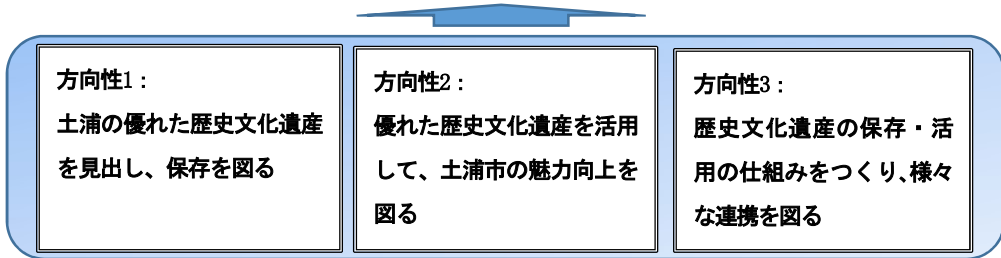
文化財の保存及び活用に関する総合的な計画について推進するため、令和3年度に土浦市文化財保存活用地域計画推進協議会を組織して協議を開始するとともに、未指定文化財や歴史的建造物についての調査を開始しました。

令和4年度は、委員会で聴取した意見や調査成果をもとに計画の編集作業を行い、パブリックコメントを経て、計画書の素案を作成しました。

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	協議会委員報償費	224
旅費	文化庁指導時旅費	162
需用費	会議用消耗品	10
委託料	計画作成支援委託	2,145
合計		2,541

【将来像】
霞ヶ浦と筑波山、城下町と村々とが織りなす歴史と文化を学び、未来につなぐ土浦



文化財保存活用地域計画の将来像と方向性

事業の成果

本計画の作成により、令和5年度～14年度までに行う文化財の保存と活用に関する将来像や方向性、重点的に推進する事業等を整理することができました。
令和5年度上半期の文化庁長官認定を目指すとともに、今後、本計画を基に都市計画や観光・まちづくりなど、関連部署の諸計画と連携・調整しながら、市内文化財を活かした施策を推進していきます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	土浦城址整備事業	担当	教育委員会 文化振興課
-----	----------	----	----------------

(単位：千円)

決算額		41,259	リーディング プロジェクト	2	未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金	23,023	基本目標	2	未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債	13,800			
	その他		政策方針	3	歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	4,436			

事業の目的

本市のシンボルとも言える県指定史跡「土浦城跡および櫓門」の整備を進めることによって、文化財としての価値や公園としての魅力を高めます。

事業の概要

本丸裏門である霞門について老朽化が確認されたことから、令和3年度に実施した設計に基づき、霞門の改修工事を実施しました。また風致の形成や景観の向上を図るため、霞門から東櫓の間の土塀を整備しました。

併せて、東櫓外壁漆喰に亀裂が生じていることから、修繕を行うとともに、省エネ及び環境対応のため、西櫓周辺の外灯（水銀灯）のLED化を図りました。

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
旅費	霞門工事監理検査旅費	51
需用費	東櫓周辺照明器具更新	299
委託料	霞門保存改修工事・東櫓修繕工事監理委託	3,025
工事請負費	霞門保存改修工事・東櫓修繕工事	37,884
合計		41,259



国道（濠）側から見た
改修工事後の霞門（右）と東櫓（左）



本丸側から見た改修工事後の霞門

事業の成果

霞門は国道側から土浦城本丸に入る主要な通路となっていることから、改修工事を行うことで、利用者の安全性を向上することができました。

また、併せて土浦城の景観を向上させることができたことから、史跡及び観光名所としての価値の向上が図られました。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	特別展・企画展事業
-----	-----------

担当	教育委員会 上高津貝塚 ふるさと歴史の広場
----	--------------------------

(単位：千円)

決算額		1,058	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	1,058		

事業の目的

本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を特別展や企画展の展示を通して広く公開することで、市民の郷土学習に対する要望に応えるとともに、文化財保護に対する意識の醸成を図ります。

事業の概要

第25回企画展「海へ 一内湾と外洋の漁労」を開催しました。

- ◎開催期間 令和4年10月15日（土）～12月4日（日）〔42日間〕 ◎入館者数 6,187名
- ◎概要 縄文時代の人々の暮らしの中で魚や貝を獲得した漁労活動に注目し、霞ヶ浦沿岸と太平洋岸の貝塚から出土した漁労の道具（骨角器）を展示し、地域ごとの特徴を紹介しました。
- ◎記念行事 ①記念講演会「縄文時代の漁労具」 ②展示の見どころ解説
③体験型イベント 上高津貝塚どきどき体験

[令和4年度分]

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	記念講演会講師謝礼	30
旅費	資料調査旅費、資料借用・返却時旅費	44
需用費	展示用消耗品、ポスター・パンフレット・写真印刷	437
役務費	通信運搬費、看板等筆耕料、資料借用時保険料	524
使用料及び賃借料	有料道路使用料	23
合計		1,058



企画展 展示風景



展示の見どころ解説



記念講演会「縄文時代の漁労具」

事業の成果

縄文時代の展示は、縄文土器や土偶が中心となることが多いのですが、当展では骨角器から縄文人がどのように魚や貝を入手していたのかを紹介することができました。当時捕っていた魚の標本なども展示し、縄文人の活動風景を感じていただくことができました。
霞ヶ浦周辺地域の歴史を新しい角度から入館者に見ていただく展示となり、好評をいただきました。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	博物館大規模改修事業	担当	教育委員会 博物館
-----	------------	----	--------------

(単位：千円)

決算額		59,646	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債	31,900		
	その他		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	27,746		

事業の目的

博物館は開館から35年余が経過し、施設・設備面での老朽化が進んでいることから、令和4年度から5年度にかけて空調設備を中心に改修工事を行い、施設・設備を整備・更新し、機能維持と長寿命化を図ります。

事業の概要


空調設備のほか、照明設備LED化、屋上防水改修、多目的トイレの改修、浸水対策工事などを実施しています。

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	消耗品費	105
役務費	手数料、通信運搬費	1,305
委託料	設計委託・工事監理・備品移動ほか	22,205
使用料・賃借料	施設使用料	637
工事請負費	機械設備・電気設備・建築改修	35,394
合計		59,646



屋上 空調設備の解体



展示室2 天井の撤去

事業の成果

本市の歴史・文化の発信拠点として、国宝・重要文化財等の歴史資料を次世代に受け継ぐための展示・収蔵環境を確保するとともに、来館者にとって安全で快適な施設環境の維持を目指しました。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	新治運動公園整備修繕事業
-----	--------------

担当	教育委員会 スポーツ振興課
----	------------------

(単位：千円)

決算額		403,508	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	89,316	基本目標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債	224,400			
	その他		政策方針	4	本市の特性を生かしたスポーツ活動の推進
	一般財源	89,792			

事業の目的

新治運動公園多目的グラウンドの人工芝化を推進し、より快適なスポーツ環境の整備を図るとともに、現状の駐車場不足と人工芝整備後の利用者増に対応するため、駐車場を増設することで一層の利便性向上を目指します。

事業の概要

◎事業の経過

- ・令和2年度 新治運動公園多目的グラウンド人工芝整備手法等調査委託
- ・令和3年度 新治運動公園多目的グラウンド人工芝化実施設計委託
新治運動公園駐車場工事実施設計委託

◎整備内容

- ・多目的グラウンド人工芝整備面積：17,630㎡
- ・駐車場整備台数：86台（整備後の公園内駐車場台数：298台）
- ・街灯整備基数：4基
- ・防犯カメラ設置台数：4台

[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	人工芝整備工事	341,431
合計		341,431

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	サッカー・ラグビー競技用消耗品等	2,540
工事請負費	駐車場整備工事	51,449
	街灯整備工事	4,125
	防犯カメラ設置工事	1,232
備品購入費	サッカー・ラグビー競技用備品	2,012
その他	竣工式開催委託等	719
合計		62,077



人工芝整備後の新治運動公園

事業の成果

新治運動公園多目的グラウンドへの人工芝整備により、より快適なスポーツ環境の整備を図りました。また、新たにラグビー競技の実施が可能となるなど、利用者の増加が見込まれることから、既存駐車場に加えて新規に駐車場を整備したことで、公園全体の利便性向上が図られました。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	小学校口腔衛生推進事業	担当	教育委員会 学務課
-----	-------------	----	--------------

(単位：千円)

決算額		59	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	59	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	0		

事業の目的

生涯にわたり健康な生活を送るためには、学齢期から口腔の健康を維持することが重要であることから、市立小学校の児童に対しフッ化物洗口を実施します。

事業の概要

県では、令和3年度に県内の5市町村においてモデル校1校を選定し、モデル事業を実施しました。令和4年度には、県内全市町村においてモデル事業を実施し、本市においても市立小学校1校を選定し、フッ化物洗口を実施しました。

◎令和4年度

- ・実施校 都和小学校
- ・対象者 都和小学校 第4学年 2学級 59人
- ・実施期間 令和4年12月1日から令和5年3月31日まで
- ・事業費 59千円（フッ化物洗口液、紙コップ等消耗品）
- ・実施内容 保護者が同意した児童のみ週1回実施

◎令和5年度（予定）

- ・実施校 都和小学校、中村小学校
- ・対象者 都和小学校 第4学年 2学級 72人
第5学年 2学級 59人
中村小学校 第5学年 2学級 51人
- ・予算額 486千円（フッ化物洗口液、紙コップ等消耗品）



フッ化物洗口実施状況

※令和6年度以降は、う歯罹患率の高い小学校などから、順次実施し、対象校を拡大していきます。

事業の成果

フッ化物洗口を実施したことで、児童自身が自分の歯を守る意識を持つようになり、口腔の健康維持が図られました。

主要施策の成果説明書

企業会計

款	資本的支出費	項	建設改良費
---	--------	---	-------

事業名	配水管施設整備事業／老朽管更新事業
-----	-------------------

担当	建設部 水道課
----	------------

(単位：千円)

決算額		490,226	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	46,150	基本目標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地方債	93,000		
	その他		政策方針	4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一般財源	351,076		

事業の目的

生活環境の改善と公衆衛生向上のため、送配水管の計画的な整備を行い、未給水地域の解消を図るとともに、安心・安全な水道水を安定的に供給するための相互連絡管路の充実を図ります。また、更新基準を経過した配水管の計画的な更新を行います。

事業の概要

市内未整備路線などへの配水管新設工事を実施し管網の拡充を図るとともに、老朽管の布設替工事を実施し、水道水の安定供給に努めました。

[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	実施設計 1件 430.0m	4,756
	配水管布設工事 2件 838.5m	29,944
工事請負費	老朽管更新工事 5件 1,239.5m	88,660
	送水管更新工事 1件 167.0m	19,470
合計		142,830

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	実施設計 7件 4,355.0m	17,304
	配水管布設工事 4件 468.0m	53,452
工事請負費	老朽管更新工事 6件 1,358.8m	182,975
	送水管更新工事 2件 405.2m	93,665
合計		347,396



配水管布設工事の様子

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	実施設計 3件 2,500.0m	16,200
	配水管布設工事 4件 1,351.0m	47,854
工事請負費	老朽管更新工事 3件 801.0m	60,066
	合計	124,120

[令和4年度末整備状況]

配水管路延長	約903km	給水区域内人口	A	141,801人
うち法定耐用年数40年を 超えた管路延長	約225km	給水人口	B	138,795人
		給水戸数		65,258戸
		普及率	B/A	97.9%

事業の成果

利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の整備に寄与しました。

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道（污水）整備事業	担当	建設部 下水道課
-----	---------------	----	-------------

(単位：千円)

決算額		179,468	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	44,122	基本目標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地方債	126,000		
	その他	8,973	政策方針	4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一般財源	373		

事業の目的

計画的に公共下水道を整備することにより、生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図ります。

事業の概要

生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図るため、計画的に公共下水道の整備を進めました。

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（污水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～令和10年度 全体計画面積 6,017.2ha 認可区域面積 4,490.7ha

- ・管渠整備工事（補助） ϕ 200mm L=529.8m
- ・管渠整備工事（単独） ϕ 200mm L=449.7m

[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事6件、工事監理等	128,087

[令和4年度分] (単位：千円)

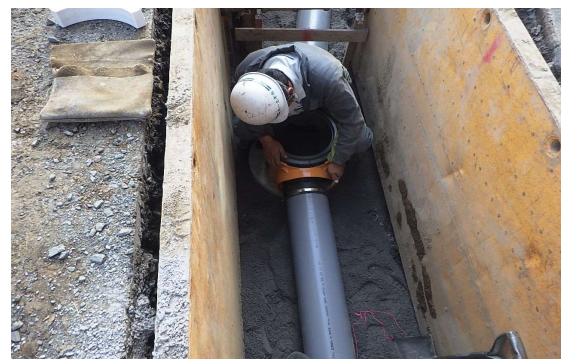
区分	概要	事業費
整備費	工事5件、工事監理等	51,381

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事3件、委託2件	177,612

◎下水道整備状況（令和5年3月31日現在）

整備区域面積 3,736.8ha
うち令和4年度整備面積 7.0ha
供用開始面積 3,736.8ha
人口普及率 88.2%



汚水管渠布設工事

事業の成果

東筑波新治工業団地ポンプ場、及び田村第一、中村第三、沖宿第二、右舂第一の各処理分区において整備工事を行い、生活環境の向上を図りました。

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道雨水排水路整備事業	担当	建設部 下水道課
-----	----------------	----	-------------

(単位：千円)

決算額		191,359	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	37,106	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	126,300		
	その他		政策方針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一般財源	27,953		

事業の目的
市街化の進展に伴う降雨時の家屋・道路等の浸水被害（冠水）の解消を図ります。

事業の概要

市街化の進展に伴う降雨時の家屋、道路等の浸水被害（冠水）の解消を図るため、雨水幹線の整備工事等を実施しました。

◎公共下水道認可区域内の公共下水道（雨水）施設整備事業

事業期間：昭和41年度～令和10年度

全体計画面積 6,017.2ha 認可区域面積 2,298.7ha

- ・木田余1号雨水幹線整備事業

排水路施設整備工事 □3,500mm×1,800mm L=42.0m

- ・神立菅谷雨水幹線整備事業

調整池整備工事（全体計画58,000m³：柵渠水路工 L=42.0m）

[令和3年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事2件、委託工事1件、補償金等	183,181

[令和4年度分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事1件、補償金等	8,178

[令和5年度への繰越分] (単位：千円)

区分	概要	事業費
整備費	工事2件、委託工事1件、委託2件、補償金等	555,341



木田余1号雨水幹線
排水路整備状況（JR常磐線東側）



神立菅谷雨水幹線
（調整池）整備状況

事業の成果
大雨による浸水被害のリスクが減少し、市民の生活環境の向上に寄与しました。

令和4年度款別主要施策一覽表

令和4年度 款別主要施策一覧表

事業	頁
【総務費】	
広報事業	38
学祭TSUCHIURA高校PR動画作成事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	39
水郷筑波サイクリング環境整備事業	40
企業誘致促進事業	41
公共施設等再編計画策定事業	42
土浦市デジタルトランスフォーメーション計画策定等事業	43
自治体マイナポイント「つちうら子育て支援ポイント」事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	44
地域公民館整備事業	45
女性のための寄り添い支援事業	46
空家等対策推進事業	47
防災拠点・防災設備整備事業	48
情報伝達体制整備事業	49
ふるさと土浦応援寄附事業	50
キャッシュレス決済事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	51
【民生費】	
保育施設等長寿命化計画策定事業	52
結婚新生活支援事業	53
出産・子育て応援事業	54
マタニティタクシー利用料金助成事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	55
子育て支援施設利用促進事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	56
子ども食堂臨時代替事業・子ども食堂運営支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	57
新型コロナウイルス感染症関係臨時特別給付金支給事業	58
認定こども園土浦幼稚園整備事業	60
私立保育園整備事業	61
【衛生費】	
骨髄移植等に係る定期予防接種再接種費用助成事業	62
各種予防接種事業(子宮頸がん予防接種)	63
予防費関係新型コロナウイルス感染症対策事業	64
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	65
新型コロナウイルスワクチン接種事業	66
医療体制強化事業	67
医療機関支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	68
上がり気味なら下げましょう、血圧・血糖教室	69
不育症治療費助成事業	70
汚泥再生処理センター維持管理事業	71
管理型最終処分場延命化事業	72
【農林水産業費】	
土浦ブランドアッププロジェクト推進事業	73
日本一のれんこん産地推進事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	74
農業資材価格等高騰対策支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	75
水稻生産継続支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	76
畑地帯総合整備事業(虫掛地区)	77
一般地帯土地改良事業	78

事 業	頁
【商工費】	
土浦市ITオフィス環境整備補助事業	79
プレミアム付商品券発行事業	80
緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金支給事業	81
貨物自動車運送事業者支援金支給事業	82
土浦全国花火競技大会開催事業	83
【土木費】	
橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業	84
道路新設改良事業	85
都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業	86
地域公共交通確保維持改善事業	87
都市計画マスタープラン策定(見直し)事業・立地適正化計画策定(見直し)事業	88
スマートインターチェンジ整備事業	89
歴史的風致維持向上計画推進事業	90
地域交通関連事業者運行継続緊急支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	91
神立駅西口地区土地地区画整理事業	92
インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業	93
田村沖宿線延伸道路整備事業	94
荒川沖木田余線(Ⅰ期)整備事業	95
荒川沖木田余線(Ⅱ期)整備事業	96
木田余神立線街路事業(Ⅱ期)	97
まちなか定住促進支援事業	98
土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業	99
中心市街地まちなか再生事業	100
【消防費】	
常備消防車両更新事業	101
【教育費】	
スクールロイヤー活用事業	102
学力向上対策事業	103
上大津地区統合小学校整備事業	104
小学校／中学校長寿命化改良事業	105
コミュニティ・スクール導入事業	107
指定文化財等管理事業	108
土浦城址整備事業	109
特別展・企画展事業	110
博物館大規模改修事業	111
新治運動公園整備修繕事業	112
小学校口腔衛生推進事業	113
【企業会計】	
配水管施設整備事業／老朽管更新事業	115
公共下水道(汚水)整備事業	116
公共下水道雨水排水路整備事業	117

主要施策の成果説明書は再生紙を使っています。